

リスクの中に自由あり

客員相談役 藤井 基之



薬はよく、両刃の剣」といわれます。病気を治す効果がある反面、副作用があるからです。例えばアスピリンという解熱剤には優れた下熱効果がありますが、その一方で血液を固まりにくくしたり、出血しやすくなるという副作用があります（もつとも最近では、この副作用を利用して脳梗塞など血管に血液が固まって詰まる病気に対し、血液を固まりにくくする薬剤としてアスピリンが使用されていますが）。

になるなどといわれます。リスクとは日本語では、「危険」とか「危機」という意味で使われます。神戸の大震災ではリスクマネジメント（危機管理）が問題になりました。

ところで元内閣官房危機管理等担当室長を務められた上野治男先生（法政大学大学院客員教授）が「リスクの中に自由あり」（東京法令出版）という本を出されていますが、その中で大変含蓄のある詩を紹介されています。作者は不明ですが多分原文は英語であり、アメリカ人だろうということですが。

笑えばバカと言われるリスク
泣けばおセンチと言われるリスク
手を差し伸べれば巻き込まれるリスク
感情見せれば拒絶のリスク
夢を語ればバカにされるリスク
愛しても愛されないリスク
生には死のリスク
希望には絶望のリスク
努力には失敗のリスク

それでもリスクは取らねばならぬ。人生最大の危険は何のリスクも取らぬこと。リスクを取らないのは何もしない人、何も持たない人、何の価値もない人。リスクを避ければ苦しみも悲しみもないだろう

う。しかし、それでは何も学べず、感動も変化も成長もない。愛の喜びもない、生きているとも言えない。確実だけに縛られりや奴隷と同じ、自由を奪われたことになる。リスクを取るものこそ自由な人間。

い」と作者は言いたいのでしょう。日本にも、虎穴に入らずんば虎児を得ず」ということわざがあります。トラの子（虎の子）というより普段は、何か大事なものをさして使いますね）を得るためには、親トラがいる（危険がある）かもしれない穴に入らなくてはいけないということ

来てくれるだろうか、閑古鳥が鳴いたらどうしようなどと心配の種はつきません。しかし一度きりの人生、やってみなければ分かりません。上野先生いわく、成功の秘訣はまず希望と目標を持つことが大切。その上で勇気と決断力、実行力と行動力、継続性、忍耐力、科学的思考、そして正道を歩むことなどを挙げています。私も自分で決めて歩みだした道、目標に向かってバク進んでいます。

「この世に完璧に安全などというものはない。特に新しい試みには危険は必ずつきもの。それを恐れては何もできな

勢おられるでしょう。でも、お客さんが

私

藤井 基之

- 生年月日 昭和22年3月16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 1回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ <http://www.mfujii.gr.jp/>
- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条
私の政策の柱はA(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会創りです。
高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何か必要か、を政治活動の根底においています。
好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」
- 活動報告
参院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。
- 経歴
昭和37年 岡山大学教育学部付属中学校卒業
昭和40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
昭和44年 東京大学薬学部薬学科卒業
昭和44年 厚生省入省
平成9年 厚生省退官
平成9年 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 専務理事
平成12年 日本薬剤師連盟 副会長
社団法人日本薬剤師会 常務理事
平成13年 参議院議員
平成16年 厚生労働大臣政務官
(平成16年9月~平成17年11月)
平成19年 日本薬剤師連盟 顧問
- その他
昭和大学薬学部 客員教授
共立薬科大学 客員教授
東邦大学薬学部 客員教授
新潟薬科大学 客員教授
千葉大学薬学部 非常勤講師
京都薬科大学 客員教授